

観光資源としてのモスク

4Th YUJI MANEN



日本でイスラム教は馴染みがない

- 日本でのイスラム教徒(ムスリム)は2022年でだいたい550人に1人程度、しかもその8割以上が外国人で日本人では無い ※身近にムスリムがいない
- ジハードの報道などで、イスラム教は怖い印象
- ムスリムは敬虔な人が多いイメージで、なんとなく神や仏を信じている多くの日本人には理解が難しい

ムスリム国は初訪問でした

- マレーシアは国民の6割がムスリム
- マレーシアは多民族国家であり、マレー系65%、中華系24%、インド系8%というなかで、中華系、インド系を除くと、ほとんどのマレー系住民がムスリム
- マレーシアから独立したシンガポールでは華僑が多く、ムスリムは比較的少ない

マレーシアではイスラム教は国教

- 王様(スルタン)はもちろん、イスラム教徒
- 憲法160条にマレー人(西マレー)はイスラム教徒であるべきと規定されている
- 非イスラム教徒は奨学金や福利厚生を申請する場合、不利になることがある

マレーシアへのイスラム教の伝来

- **13世紀**、アラブ商人やインド商人と共に伝来。
その結果、仏教とヒンドゥー教が後退
- **1414年頃**、マラッカ王国の国王ムラト・イスカ
ンダル・シャーがイスラム教に改宗、国王は
スルタンとなった

キリスト教の伝来

- 1541年、インドに派遣されることとなったザビエルは、翌年インドのゴア到着、布教を開始したが、インドでの布教は障害が多かった
- 計画を変更して、マラッカ（マレーシア）、アンボン、テルナテ・モロタイ（インドネシア）で布教
- マラッカに戻り、1547年12月、日本人ヤジロウ（Angero）と出会い、日本への布教を計画

ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の成立

- ユダヤ教（紀元前1280年頃）



- キリスト教（紀元1世紀中頃）



- イスラム教（610年～622年）

キリスト教の布教開始時点で、マラッカでは既にイスラム教が浸透しており、イスラム教より成立の古いキリスト教はマレー人に響かなかった？

私のモスク初訪問となったモスク



マラッカ海峡モスク
(英名 : Melaka Straits
Mosque)

2003年完成・2006年一般
公開

※ もっと古い建物である
とっていたので驚き

2番目の訪問となったモスク



ブルーモスク

正式名称:スルタン・サラ
ディン・アブドゥル・アジズ・
モスク

1988年完成

世界で4番目の規模を誇る
大きなモスクで、マレーシ
ア国内では最大級

収容人数は最大24,000人

ミナレット(塔)は140m超

3番目のモスク



アイアンモスク
シルバーモスクとも
正式名称:トウンク・ミザン・
ザイナル・アビディンモスク

2009年完成・2010年公開

全体の70%が鉄でできて
いる

ミナレット(塔)は無い！

ピンクモスクと比べて人気
が無い(地味だから?)

4番目のモスク



ピンクモスク
Putra Mosque (Masjid
Putra)

1999年完成

ピンクの花崗岩使用

インスタ映えすると外国人
観光客に大人気のスポット

ガイド無しで自由に見学が
できる

5番目のモスク



アスタカ・モロッコ
モロッコパビリオン

マレーシアとモロッコの文化交流の象徴として建てられた、モロッコ風の建築物

実際にモロッコから輸入した材料を使い、北アフリカの職人によって建築

パビリオンは、幾何学模様の複雑な彫刻やアラビア文字、アラベスクデザインで見事に装飾され、モロッコ建築の美しさを感じる

モスクは一大観光地



モスクでのポーズの注意点



※現地のモスク
内にて撮影

モスクが観光地として良かった点

- 写真撮影がOKであった
- コスプレが楽しい(女性に限らず男性でも短パン、ランニングシャツ等、肌の露出が多ければ着ないとNGで、実際に着ていた男性もいました)
- 大きい建築物の迫力と、その中に入れるという満足度
- お祈りはまったく強制されない
- キリスト教のキリスト像や絵画、仏像などは無いが、その分、ステンドグラスや壁の装飾模様が美しい
- 説明のガイドさん(ただし英語)が付くことが多く、説明してもらえる

ここはあとちょっと

- とても暑いので貸し出しの服は、風を通すメッシュ素材だとありがたい
- お祈り体験(手足を洗うところから)ができるとより理解が深まるのでは
- 食べ物、飲み物の提供があるとなお良い

日本の寺社で外国人観光客を呼ぶには？

- 日本のアニメは世界的に有名であり、近年アニメツーリズムが盛んとなった
- 日本のアニメ人気により、桜、富士、日本の家屋、街並みなどにも外国人人気が高まっている
- 寺社はどのまちにもあり、そのままでなく、提灯などで飾る、ライトアップするなど、インスタ映えする工夫をすれば、集客は望めると思う
- 写真撮影OKは必須（しかたない場合は一部のみ禁止とする）

うちのまちには何もないという前に

- 神社やお寺はどここのまちにもあります
- 桜や梅、菜の花、あじさい、ひまわりなどは観光名所となりえる可能性
- 地元の歴史を掘り起こしてみても、なにかストーリー性があれば売りにする(新名所の創出)
- 探してみる事が重要

無ければ作れば良いという考え

- 日本の観光地には昔から顔はめパネルがある。日本人は昔から写真好きだったが、いまは世界でもSNS等の普及から、写真が人気となった。人気のゆるきゃらと写真が撮れるフォトスポットは人気が出ると思われる
- やんばダムでは桜を1万本植樹するプロジェクトがあり、そのための寄付を募っている。ダム自体が新名所であるが、さらなる人気スポットを狙っている。

最後に

- イスラム教を正しく理解することは、異文化理解に役立つ
- 多文化共生に向け、お互いに理解が必要